

令和元年 9 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	1 1	議席 番号	1	氏名	渡 辺 佳 正 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	遺伝子操作によるゲノム編集食品の現状・課題などの情報を市民と共有する取り組みについて			<p>(1) ゲノム編集技術に関する情報提供と認識の共有について。</p> <p>① まずは、行政自身がゲノム編集技術について正しく理解し、国が強力に推進している成長戦略におけるゲノム編集技術の問題点と規制の現状を正しく認識する必要があると考えるが、いかがか。</p> <p>② ゲノム編集技術について市民が正しく理解して対応できるように、賛否様々な立場の専門家を招いての学習会やシンポジウムなどの開催を提案するが、いかがか。</p> <p>(2) ゲノム編集食品に対する認識について。 現在、開発中のゲノム編集食品には、通常より可食部位が 1.5 倍もある豚や養殖鯛、栄養成分 GABA が多いトマト、発芽時に毒素が出ないジャガイモなどがあり、今年の夏～秋にも市場に出ると言われている。</p> <p>① 近い将来、私たちの知らないうちにゲノム編集食品が我々の食卓にのぼる可能性や、ゲノム編集食品の安全性と環境への影響、及びゲノム編集技術に関する情報不足の現状について、市はどのように認識しているか。</p> <p>② 遺伝子組み換えでは、元の生物の遺伝子に種を超えた他の生物の遺伝子が組み込まれるので、作物や食品に対して法律に基づく安全審査と表示義務が課されているが、ゲノム編集食品にはこのような法的規制がない。この点についての認識はあるか。</p> <p>(3) 学校給食におけるゲノム編集食品の取り扱いについて。</p> <p>① 遺伝子組み換え食品と同様に、学校給食ではゲノム編集食品を食材や調味料として一切使用しない姿勢を持つことが大切だと考えるが、いかがか。</p>		市長 関係部長
2						小学校夏休みの自由プール実施日数が激減していることについて